

【問題】

症例：39歳，女性。

主訴：心窩部痛，下痢。

既往歴・家族歴：特記事項なし。

生活歴：飲酒歴なし，喫煙歴なし。

現病歴：2～3年前より慢性的な持続する水様性下痢と心窩部痛を繰り返していたが，積極的な検査や加療は受けていなかった。今回，職場の検診で初めて肝機能異常を指摘され，腹部超音波検査で臍頭部腫瘍および肝両葉に散在する腫瘍を認めた。

入院時現症：身長 151.7cm，体重 49kg，体温 36.9度，血圧 116/82mmHg。結膜に貧血や黄疸なく，皮疹や表在リンパ節腫脹も認めず。心窩部に弾性硬の母指等大の腫瘍を触知する。

入院時検査所見：

WBC $6.6 \times 10^3/\mu\text{L}$ ，Hgb 12.9g/dL，PLT 39.4

万/ μL ，BUN 11mg/dL，Cr 0.58mg/dL，総蛋白 7.3g/dL，総ビリルビン 0.5mg/dL，AST 182IU/L，ALT 295IU/L，ALP 648IU/L， γ -GTP 340 IU/L，AMY 64IU/L，空腹時血糖 83mg/dL，CRP 0.05mg/dL，HBsAg (-)，HCVAb (-)。

Tumor marker：

CEA 2.1ng/mL，CA19-9 21U/mL，Span-I 26U/mL，Dupan-II 60U/mL，AFP 5.0ng/mL。

画像所見：

上部消化管内視鏡検査および腹部超音波検査画像を示す (Figure 1, 2)。

1. 追加すべき検査項目は？

2. 本症例の診断は？

解答は日本消化器病学会雑誌107巻9号をご覧ください

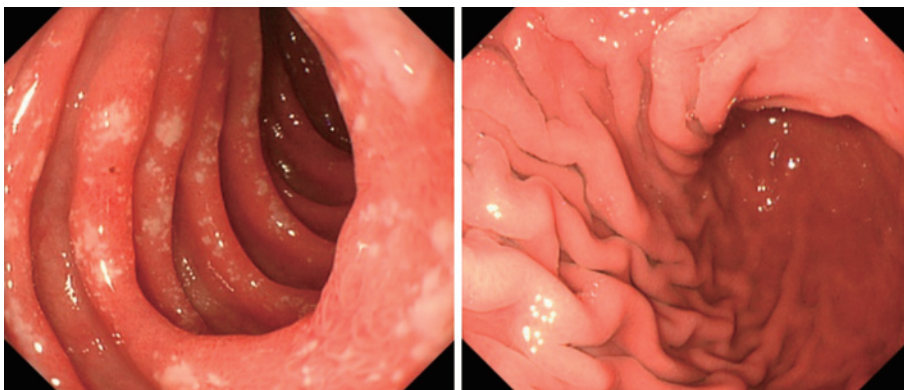


Figure 1. 上部消化管内視鏡検査.

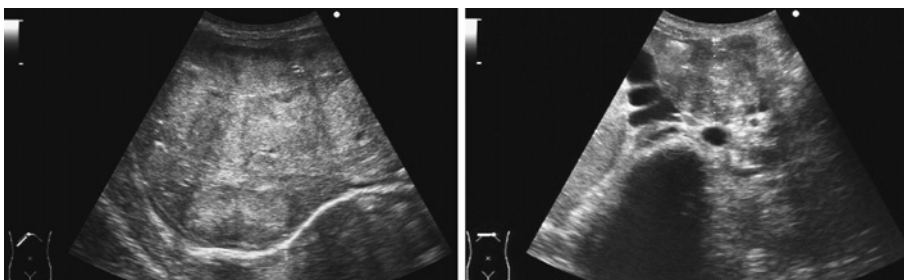


Figure 2. 腹部超音波検査.